

子育て

市江小、空き教室に児童クラブ開設!

移動時間30分を大幅短縮。児童の安全・安心を確保します!
登記事務および用途変更許可申請業務委託料 約949万円

Q 代休日はどうなるのか?

A 児童館で実施する。

Q 学校との連携は?

A 様々な課題があるので、連携して進める。

Q なぜここまで高額な委託料が必要なのか?

A 建築許可申請にあたり、面積と境界の確定が必要だが、無番地の土地が含まれている。

都市計画法に基づく開発審査会の許可にあたり、無番地の土地も含め敷地面積、用地境界を公的に証明することが要件となるため。

産後ケア業務委託料を増額!

利用増加に伴い事業費を増額します。 約120万円

Q 増額の理由と、利用増加の要因は?

A 年10人の利用を見込んでいたが、6月時点ですでに12人が利用。

過去に利用した人が、第2子、第3子の出産時にも利用するケースが増えているため。

Q 利用内容は?

A ほとんどが母体の休養を目的とした利用で、対象は生後1、2か月の乳児がいる家庭が多い。

Q 利用率は?

A 出産者全体のおよそ3%だ。



下水道

下水道工事費約2,260万円未払い!

令和6年度及び7年度分の工事費用を支払います。

Q 工事費用の内訳と企業数は?

A マンホール蓋高さ調整121万円、内副管修繕11万円、取出管に係る舗装修繕160万6千円の3件などで、施工業者は3社だ。

Q 工事の契約をしたのか?

A 口頭のみの依頼で契約書等は存在しなかった。

Q ヒューマンエラーを防ぐ具体的な施策は?

A 現場対応やチェックリストの入力確認など、複数人が確認できるよう事務フローの体制を再構築する。

あわせて下水道財務システムを活用し、第三者でも処理状況を確認できるようにする。

公共施設

旧佐屋北保育園跡地調査が始まる!

利活用に向けアスベストや土壌汚染状況を調査します。

約104万円

Q 調査内容と費用の内訳は?

A アスベスト含有調査20検体、土壌分析調査2検体と、敷地内6か所で試掘調査を行い、地中の廃棄物の有無を確認する。内訳はアスベスト調査71万円、土壌分析調査8万6千円、試掘調査12万円などだ。

Q 跡地活用の方針は?

A 市街化調整区域内地区計画ガイドラインを活用し、効果的な活用を進める。

令和6年度～8年度工事費未払いへの賛否討論 (下水道補正予算)	賛成 市の社会的信用のため、未払い金の早期精算が必要	反対 不適切な手続きの追認とならないよう、再検証と再提出を求める
工事を提供した事業者に対し、自治体が一時的に支払いを続けることは道徳に反し、民法上の不当利得・不法行為にも該当する。支払いが遅れば遅延損害金(利息)が発生し続け、結果として市および市民に不利益をもたらす。 反対議員が指摘する「内部統制や契約手続きの問題」は大変重要であり、全庁的な組織改革や再発防止に向けた議論を進める必要がある。市からは対策として、システム仮入力をするなど、説明があつたが、職員間の会話(情報共有)ができていないのが問題だ。これは、下水道部局だけの話しではなく、担当職員に任せきりの部署が多く、全庁の問題だ。 しかし、今回の予算議決と内部統制の問題は切り離して考えるべきだ。執行部には発生した支払い義務を速やかに果たす責任があるため、本案に賛成とする。	本補正予算は、担当職員の口頭依頼のみで入札や決裁、発注書も交わさず施工させ、複数年度にわたり支払いを放置していた計20件・約2260万円(最大550万円の工事を含む)の未払い金を計上するものだ。単なる手続きの失念や遅延の域を超えている。	事業者への迅速な支払いの必要性は理解するが、「支払いの急ぎ」と「十分な検証のない安易な議会承認は別問題だ」。 市の支払い根拠や金額の妥当性、全庁的な調査、再発防止策、事業者との癒着に関する調査などが不十分なまま承認することは、議会自らが違法・不適切な行政手続きを追認することになりかねない。直ちに厳密な再検証を行い、補正予算案を再度提出することを求め、反対とする。